※令和４年度以降入学生用

学校番号	316

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	探求　論理国語　（株式会社桐原書店）						
副教材等	改訂版　学習のポイントが見えるよむナビ　現代文2.5（株式会社　いいずな書店） 読解を深める　現代文単語　評論・小説　三訂版（株式会社　桐原書店） 大学入試　国語頻出問題１２００　五訂版(株式会社いいずな書店) カラー版　新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題や、週末・長期休暇中に課題を課し、所定の期日までに提出を求めます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自分で気付いたこと、大切だと思ったことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。また、科学や哲学の知見を基に、人の生き様についての考えや理解を深め、生と死の問題を自分の課題として捉え直す。 ［教材］ 人間の領域（日高敏隆）	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、生きる論理と死との関係について考えを深めようとしている。人間の美学について話し合い、その功罪についてまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、芸術においての視覚的映像の重要性、人間の美学への理解を深める。さらに、参考〈知〉の深化を通して「人間が生きること」の意味についての思索を深める。 ［教材］ オブジェとイマージュ（高階秀爾） 人間の領域（日高敏隆） アノマロカリス（松浦寿輝）	a：文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b[書]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判 的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味し て、内容を正しく解釈し、考察している c：イマージュの世界が人間のイマ ジネーションに訴える力をもっているという筆者の考えについて、具体例をもって話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。 ［教材］ 市民社会化する家族（今村仁司）	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]：書き手の立場や目的を考えながら、内容の 解釈を多角的に深めている。 c：本文内容の正しい理解を踏まえ、市民社会化に抗する人間のあり 方についての筆者の主要な見解を八百字程度でわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で二つの文章を読み、その論旨を比較して考えを深める。 ［教材］ 足跡（原研哉） 創造としての本歌取り（渡部泰明）	a：文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している b：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握して いる。 c：本文内容の正しい理解を踏まえ たうえで、本歌取りと創造につい ての筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	人間の身体と周囲の関係性に着目し、人間の存在についての認識を深める。 ［教材］ 「身体と出現 （平野啓一郎）	a：文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b：文章の構成や論理の展開、表現の仕方につ いて、書き手の意図との関係において多面的 ・多角的な視点から評価し、書き手の意図を 正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、私たち を取り巻くものと身体の関わりについて話し合い、	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			
	言語論を踏まえて、日本語や日本文　化の問題について考察する。 ［教材］ 言葉の〈意味〉と〈表徴〉 （中村雄二郎）	a：文や文章の効果的な組み立て方　や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、筆者の　主張についてどう思うか話し合　い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	風景の喪失は人間の危機であり、そ　のことに気づかないこともまた危険なことであることを実感する。 ［教材］ 霧の風景　（桑子敏雄）	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判　的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 c：闇や静寂の風景の喪失に関する筆者の考えについてどう思うか、自分自身の体験を踏まえて、具体例を適切に盛り込みながら、八百　字程度にわかりやすくまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	惜春について、「古今集」と正岡子規との感性の共通点を理解する。 ［教材］ 「貫之は下手な歌よみ」か？ （鈴木宏子）	a：文や文章の効果的な組み立て方　や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している b[読]：：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 c：本文の内容を踏まえて、古典和歌の力について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	資料の集め方や集めた資料の整理の仕方を学んだうえで、実際に最新データを集めて整理する。 ［教材］ レポートを書く	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：情報を収集、整理し、妥当性や信頼性を吟味して、目的や意図に応じた適切な情報を選別する方法を学ぶ。 c：目的や課題に応じた情報を適切に収集し、文章の効果的な組み立て方や接続について理解を深めることができる。	ワークシート 小テスト	ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート
	小論文の一般的な文章構成例を理解するとともに、主張を軸に全体の構成を考え、適切な表現で記述することを学ぶ。 ［教材］ 小論文を書く	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 b[読]「課題文型」の小論文を作成するという文脈の中で、設題と課題文の大意を理解することができる。 c：複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、関連付け、解釈しようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 小論文	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　４５　）時間
・読むこと　…　（　７０　）時間